

平成29年度全国学力・学習状況調査では、算数Bで「割合を比較するという目的に適したグラフ」を選ぶ問題が出題されました。平成28年度国語Bでは「目的や意図に応じてグラフや表を基に自分の考えを書く」という趣旨の問題が出題されており、各教科で「目的に応じてグラフを効果的に活用する力」が問われています。その力を身に付けるためには、**グラフを作成する、分析する、比較する、引用するなど、教科の特性や目的に応じて活用し、グラフを使うよさに気付くことができるような指導をすることが大切です。**

### 算数科の指導のポイント

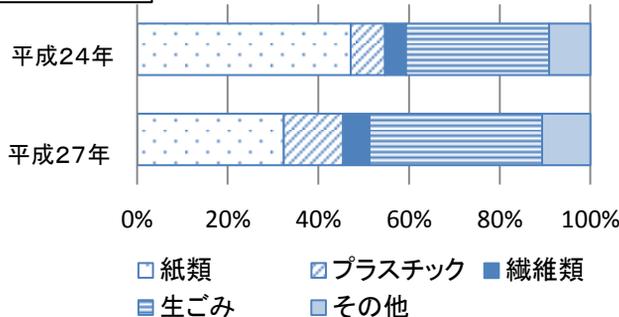
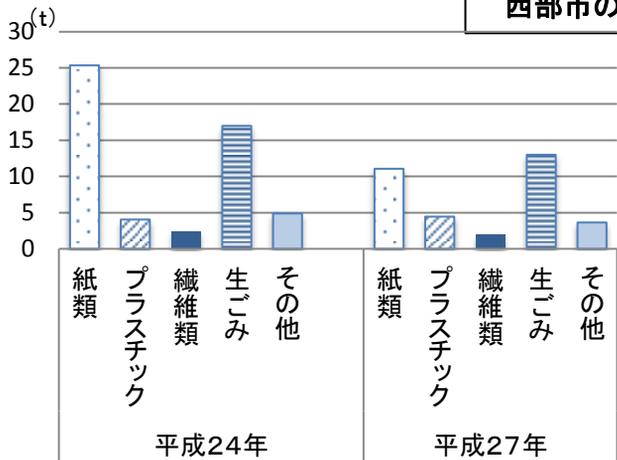
目的に応じて資料を集めて**分類整理**し、円グラフや帯グラフを用いて**表**したり、**特徴を調べ**たりすることができるようにする。  
(6年:割合)



平成24年と平成27年の「西部市の1年間のごみの量」について調べて、**棒グラフと帯グラフ**に表しました。

棒グラフは**数量の大小が分かりやすいのが特徴**です。**各項目の割合が知りたい場合は円グラフか帯グラフ**がいいのですが、今回は**比較しやすいように帯グラフ**にしました。

西部市の1年間のごみの量



これらのグラフを、子供たちがどのように活用できればよいのでしょうか。指導のポイントをもとに、各教科で目指す子供の姿を考えてみましょう。

棒グラフを見ると、ごみ全体の量が減っていることが分かるね。**特に紙類が減っているのはなぜかな。**



### 社会科の指導のポイント

各種の基礎的資料を効果的に活用し、**社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力**を育てる(4年:ごみのゆくえ 等)。

この3年間で西部市民のリサイクルへの意識が高まったのかもしれないな。何か取組をしているのかな。**西部市の関係者にインタビューをして、結果をレポートにまとめよう。**

私は**地域の人に環境問題に対する身近な取組を呼びかける文章を書きたい**な。



### 国語科の指導のポイント

目的に応じて資料から**情報を正しく取り出し**、自分の立場や主張を明確にした上で、その**根拠として数値や事例などを引用**して書くことができるようにする。  
(6年:資料を生かして呼びかけよう 等)

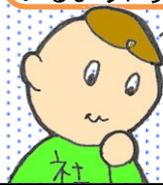
紙類のリサイクルは進んでいるから、**生ごみを減らす取組を提案したい**な。棒グラフと帯グラフと、どちらを使うかと思いが伝えられるかな。

グラフを基にした対話によって、それぞれの教科の学びをさらに深めるような学習は、中学校でも有効です。

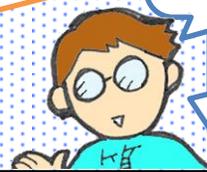
H29高校入試(社会科)で、帯グラフの問題が出題されました。



生ごみ全体の量は減っているのに、帯グラフで見ると**すごく増えて**いるように見えるね！



帯グラフは全体の量の中で生ごみの占める割合を表しているからね。



紙類の割合が減った分、生ごみの割合が増えたんだ。

グラフのマジック...



...ということは、生ごみを減らす取組について提案したい場合は、よりその意図に合った帯グラフが適しているということだね。